

# ニュースレター

## ——新聞から拾う医界の周辺あれこれ——

<15. 12. 1~15. 12. 31>

12月1日

■食器洗いに使う市販の中性洗剤が、新型肺炎（重症急性呼吸器症候群＝SARS）ウイルスの消毒に有効なことを、国立感染症研究所（感染研）が究明。（読売）

12月2日

■独自に開発した超微細加工技術を使い、先端の間隔がナノ・メートル（ナノは10億分の1）サイズの動くピンセットを作ること、姫路工大高度産業科学技術研究所の松井真二教授らが成功。（読売）

■100歳を過ぎても元気に生きるには、毎日の運動、腹8分目、たばこを吸わないという調査結果が国立療養所中部病院（愛知県）などの研究で明らかに。（読売）

12月5日

■薬の効き目や副作用など体質による個人差を一滴の血液を使って2時間で調べられる遺伝子診断の検査法を、東北大医学部遺伝病学分野の松原洋一教授と呉繁夫助教授が開発。（読売）

12月11日

■奈良先端科学技術大学院大学の尾形信一助手らは、がん細胞の周りにある酵素と反応して血液を凝固させるたんぱく質の合成に成功。

（日経）

■米ハーバード大の研究グループは、エイズの治療に最も効果的で副作用も少ない薬の組み合わせを発見。（日経）

■ぜんそくの子供の割合が小中学校では10年前のほぼ2倍となり過去最高となったことが、文部科学省の学校保健統計調査速報で明らかに。（道新）

12月14日

■東大医科学研究所の上田実教授らは、犬を使った実験で、あごの骨の細胞から完全な歯を再生することに初めて成功。（読売）

12月15日

■低身長のうち軟骨の成長不足が原因となっている難病に、ある種のホルモンが効くことを京大医学部の中尾一和教授らのグループが動物実験で究明。（朝日）

12月18日

■世界保健機関（WHO）が発表した「2003年世界保健報告」によると、日本は「平均寿命」（男性78.4歳、女性85.3歳）と健やかに過ごせる人生の長さを表す「健康寿命」（男性72.3歳、女性77.7歳）の双方で世界一を維持。（各紙）

12月21日

■急にめまいや呼吸困難などの発作が起きるパニック障害では、安静時から脳の一部が過敏に働いていることを、東大の熊野宏昭・助教授（心身医学）らが究明。（朝日）

12月24日

■地方のがん診療の中核病院でも、手術の実績や治療成績に大きな格差があることが、厚生労働省研究班の調査で明らかに。（読売）